

株式会社 山田養蜂場 創業者

山田 政雄（やまだ まさお）会長 死去に関するお知らせ

いつも山田養蜂場をご愛顧いただきまして、誠にありがとうございます。

去る、平成27年1月21日午後8時13分 山田養蜂場の創業者である山田政雄会長が、享年89歳をもって永眠いたしました。

生前のご厚誼を心から感謝し、ご報告を申し上げます。

山田政雄会長は、10代の後半を満州で過ごし、昭和21年に故郷の徳島県池田町に戻りました。その後、徳島県で始めたニホンミツバチの飼育が、後の山田養蜂場への出発点です。

昭和31年、移動養蜂が全盛の時代に、全国の養蜂家が岐阜、宮崎と並んで転地養蜂の移動先として頻繁に訪れたレンゲ蜂蜜の産地、現在の会社所在地の岡山県鏡野町に定住し、定置式の養蜂を開始しました。

そして、長男である現社長とその妹の差栄さんが生まれました。

しかし、差栄さんは先天性の重い心臓疾患を持っていました。会長は何とかして娘を健康に育てたいと考え、当時世界的に話題となった奇跡の薬ローヤルゼリーの生産方法を一心に研究したのです。

会長は、ローヤルゼリーの大量生産方法を独自に確立、家族の献身的な支えもあって娘の差栄さんは元気に育ちました。ところが、14歳の時に医師の勧めで行った外科手術で差栄さんはあえなく他界、一家は深い悲しみに包まれたのでした。

その後、会長は悲しみを乗り越え、「娘は自身の病気を通じ、私に社会に健康を届ける使命を与えてくれた。娘と同じ健康上の苦しみを持つ社会の人々に、仕事を通じて健康を届けることを生涯の仕事としよう」と決意したのです。

私どもは、会長から教わったその遺志を「ひとりの人の健康のために」との創業の精神として受け継ぎ、商品づくり、お客様との対応、サービスの向上に取り組んでまいります。

これからも、この原点を決して忘れることなく皆様の健康のお役にたてる仕事を続けてまいります。

平成27年2月10日

株式会社 山田養蜂場